

内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞

横浜市推薦

特定非営利活動法人 横濱ジェントルタウン倶楽部

(神奈川県横浜市)

【概要】

- 人にやさしいまち(ジェントルタウン)づくりを目指し、横浜市内の福祉のまちづくりを推進するための活動を実施している。障害当事者、商店街、まちづくり専門家、NPOなど多様な立場のメンバーが協力して、商業者と障害者の交流イベントの開催、障害者のサポートや心のバリアフリーを実践で学ぶバリアフリー散策の開催、地域のマップと店舗紹介のガイドブックや視覚障害者にも触ってわかる地図である「触る地図シリーズ」の作成、福祉教育・研修の実施などさまざまな活動をしている。

【功績・功労】

- 商店街と連携したイベントの開催

- ・ ビンゴラリー等のイベント

商店街の協賛を得て協力店を募り、「ビンゴラリー(スタンプラリーのような参加型イベント)」などのイベントを毎年行うことで、商業者と障害者の交流と相互理解を進めている。その結果、商店街では障害者の客を自然に対応できる店が増えており、障害者もお気に入りの店を見つけて商店街に気軽に来ることができるようになってきた。



ビンゴラリー

➤ 地域のマップと店舗紹介のガイドブックの作成

商店街や地域の魅力を多くの障害者にも知ってもらうために、ハードな設備が整っている公共施設や大規模民間施設だけでなく、みんなが行きたい店や観光スポットを紹介し、その場所では、どんなハード・ソフトの工夫をしているかを、独自のピクトグラムでわかりやすく紹介したガイドブックを作成した。その取材の過程で、段差があっても手伝うなど、店側の意識改革につながった例もある。



地域のマップとガイドブック

➤ 触る地図シリーズ

「見えない人にも触ってわかる地図が欲しい」という意見から、「関内触地図」や「触る地図横浜 バリアフリーマップ」等を作成した。誰にでも有用な観光情報や車いすの人にも必要なバリアフリー情報をカラー印刷で掲載した上に、地図の骨格となる部分を透明な浮き出し印刷で触ってわかるようにしている。視覚障害者と晴眼者がコミュニケーションしながら一緒に触ることで、視覚障害者の頭の中にイメージマップを形成することができる。



「触る地図横浜バリアフリーマップ」

➤ バリアフリー散策

一般参加者を公募し、横浜の魅力スポットを散策しながら、障害者と交流することによって、障害者のサポートや心のバリアフリーを実践で学ぶ。

参加者は散策の前に、車いす障害者や視覚障害者のサポートの仕方の研修を行う。また、障害者のサポート体験だけでなく、アイマスク体験なども行い、サポートの重要性を知ってもらう。



バリアフリー散策

➤ 福祉教育(出前教室)・研修の実施

学校や企業、美術館等の依頼により、小中学校の児童生徒、企業の職員、美術館ボランティア等を対象にした福祉教育や研修を実施している。

研修においては、障害当事者の講話の他、車椅子や視覚障害者の疑似体験と介助体験を行うことで、参加者に様々な気づきを得てもらう。視覚障害者、脳性麻痺者(電動車椅子)およびスタッフが講師として参加している。



出前教室

➤ 商店街や市内の各種団体など多数の関係者と連携して活動しており、地域にしっかりと根付いて活動している。各種バリアフリーマップも羽田国際空港ターミナルビルや各区役所などから依頼を受けて作成し、広く活用され評価できる。